

R8.7.10(金)防災熟議～防災実践に向けた話し合い～

桜山地区協議会・地域住民・さくらやま学校運営協議会・本校5, 6年生児童による熟議



平成30年から始まった防災熟議今年で9年目を迎える桜山小の伝統事業の1つになりました



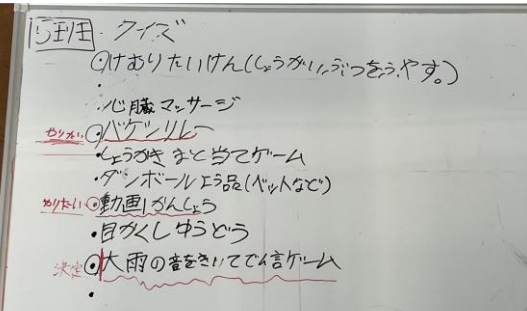
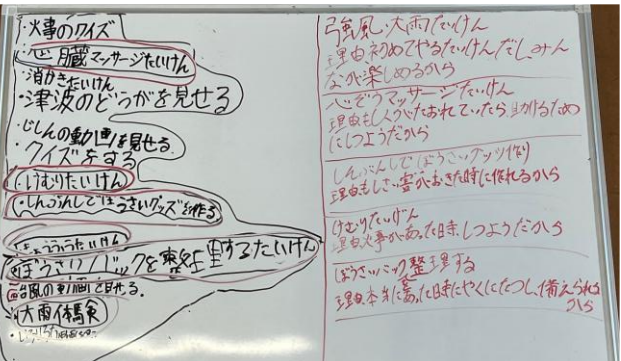
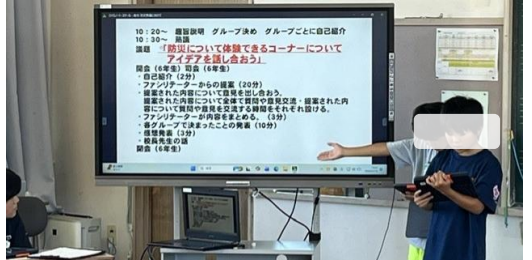
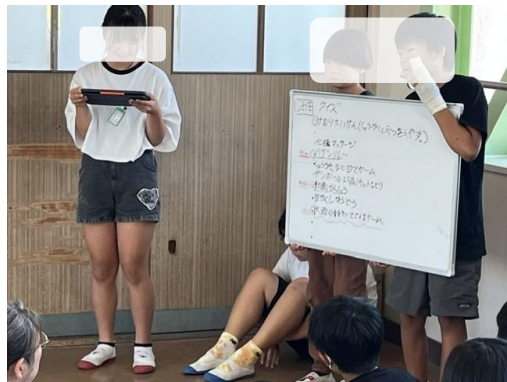
保護者や地域住民の代表である学校運営協議会のメンバーと一緒に話し合います



子供たちの防災に対する当事者意識を高める機会となっています。各グループでは、地域の大人の方に対して物おじせず様々な意見を交わす姿が見られました。



濱津さんは、荒尾市防災安全課所属ということで、危険警戒警報発令の仕組みを説明していただきました。



防災と言っても、火災・台風・大雨・地震など想定することは数多くあります。各グループでは、危険度の高いものを選び、その中からできそうなことを探したり、やってみたいことを出し合ったりしていきました。その中で、大人からの助言をもらいつつ、よりよいものになるように整理していく姿は、まさしく異学年交流学習そのものでした。日頃の教室では味わえない経験が、教育目標の実現や資質・能力の向上につながっていくと思います

今回話し合われた内容を、9月12日(土)の防災実践で実現させていきます。